



注1) “/”はその前の文字や数字がその後ろの文字や数字に置き換えられた派生モデルが存在することを示す。

ex)“EB1/2-C”は“EB1-C”と“EB2-C”の2種類のモデルが存在することを示す。

注2) “0”はその中の数字や文字が付け加えられた派生モデルが存在することを示す。

ex)“M3(T)”は“M3”と“M3T”の2種類のモデルが存在することを示す。

注3) “xx”、“yy”、“xy”はそれぞれ2桁の数字に置き換えられたモデルが存在することを示す。ただし、数字の組み合わせや意味はそのモデルやシリーズに特有である。

ex)“XMxx”は“XM02”、“XM04”、“XM07”などのモデルが存在することを示すが、“XM13”などが存在しないようにあてはまらない数字もある。

注4) “/”や“0”で示された派生モデルはすべての組み合わせが存在するとは限らない。

ex)“3/6/9P(T/L/D/LD)”は“3P”、“9PT”、“6PLD”などのモデルが存在することを示すが、“3PL”、“9PD”などのように存在しない組み合わせもある。

注5) 適合性に関して、各規格において接続が可能であるということを示しているだけで必ずしも正常に機能するとは限らない。また、個体差やモデル特有の問題で同規格の部品でも接合できない可能性がある。

ex)LX2付属ヘッドをL4ボディに接続すると点灯はするが調光機能は失われる。